



菊武学園フラッシュニュース

プロリーグ入り&全国優勝

～名産大クラブの活躍～

名古屋産業大学では、2024年に入って早々に「サッカー部」と「ボウリング部」から素晴らしい報告が相次いでいます。

サッカー部では、大山晟那さん(現代ビジネス学部 4年)が、日本プロサッカーリーグ J3 の「ヴァンラーレ八戸」に入団することが内定しました。また、高井健太さん(同学部 4年)が、日本フットボールリーグ(JFL)所属の「ラインメール青森 FC」に入団することとなりました。今年の干支である辰のように、空高く昇り続けて活躍してくれることを期待します。

ボウリング部では、1月19日から1月21日にかけて新狭山グランドボウル(埼玉県狭山市)で開催された「第52回全日本クラブ対抗ボウリング選手権大会」(公益財団法人全日本ボウリング協会主催)に出場し見事優勝いたしました。今大会は、日本大学選手権大会の順位により全日本学生連合の代表として出場することができ、5人チーム戦で行われる中、林元輝さん(同学部 3年)、辻井裕大さん(同学部 3年)、岩元美咲希さん(同学部 3年)、大藪信太郎さん(同学部 2年)、服部寛大さん(同学部 1年)、河内唯斗さん(同学部 1年)の6名(補欠1名含む)で臨みました。決勝戦の相手は強豪の同志社大学でしたが、出場メンバーそれぞれが実力を発揮し、全13ゲーム中11勝を挙げて、最終ゲームを待たずして栄冠を手に入れました。



(大山晟那 選手)



(高井健太 選手)



(賞状とメダルを手に笑顔で記念撮影)

箏曲部 日本音楽部門で最優秀賞を受賞

菊華高等学校では、箏曲部が1月7日、日本特殊陶業市民会館(名古屋市中区金山)で開催された愛知県高等学校文化連盟日本音楽部門 第38回発表会(県大会)において、吉崎克彦先生作曲の「絃歌(ストウリングス)」という十七絃二重奏曲を演奏し、最優秀賞を受賞しました。

これにより、愛知県代表として7月31日から8月5日にかけて土岐市文化プラザ(岐阜県土岐市)で開催される第48回全国高等学校総合文化祭「清流の国ぎふ総文 2024」(全国大会)への出場が決定しました。30名を超える大編成で出場する学校もある中、本校は5名での出場でした。通常の箏糸が13本なのに対し、十七絃は17本の太い糸でできていて、重厚で低音なのが魅力です。できるだけ迫力を出すために、太い糸に負けないように全体重を乗せて、力いっぱい情熱の限り演奏しました。5人の心が一つになり、目標を達成することができた喜びは一生の宝物です。日頃から応援して下さいの皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、全国大会出場に向け、更に気持ちを締めつけて努力をしていきます。



(リハーサルの様子)



(「最優秀賞」受賞に喜ぶ部員)

冬休みにウインタースクールを実施

菊武ビジネス専門学校では、12月25日から12月27日まで、絶景の中でパウダースノーが楽しめる竜王スキーパーク(長野県下高井郡)にてウインタースクールを実施しました。今年もスノーボードコースとレクリエーションコースに分かれ、計68名が雪山を楽しみました。

スノーボードコースに参加した多くの生徒は初心者でしたが、筋肉痛になりながらも積極的にチャレンジして上達していく姿を見ることができました。また、レクリエーションコースに参加した生徒は、雪合戦やソリ遊びをしたり、雪上車とロープウェイを乗り継いで、標高1,770mにある展望台からの絶景を堪能していました。

天気にも恵まれ、ふもとの町までとてもきれいに見えました。生徒たちは日常とは違う多くの経験から、ひと回りもふた回りも成長して帰ってきたように思います。



(ウインタースクールに参加した生徒)

本物の結婚式を2組プロデュース

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院では、ブライダルビジネス科とフラワービジネス科の2年生がプロデュースする本物の結婚式が、12月3日と1月20日に執り行われました。

学生たちは夏休みから打合せをスタートし、打合せではたくさんの課題を新郎新婦様とともに乗り越え、学校では各役割の動きを何度も練習して本番を迎えました。

結婚式当日は、朝早くからフラワービジネス科の学生が会場に花を飾り付け、ブライダルビジネス科ドレス・ヘアメイクコースの学生が新郎新婦のヘアメイク着付を行い、ブライダルビジネス科ウェディングプランナーコースの学生が会場内の準備をしていよいよ結婚式が始まりました。

メインプランナーを担当した学生は「この日のために考えた演出でゲストが感動の涙を流している姿や、幸せそうな新郎新婦様の笑顔を見ることができた。大変なことはもちろんあったけれど、今日までの日々はどれもすごく楽しかった。」と晴れ晴れとした笑顔で話してくれました。

(1月20日挙式の新郎新婦と担当学生たち)



保護者と一緒に交通安全指導

菊武幼稚園では、1月18日に「交通安全の大切さを知り、保護者の方と楽しみながら学ぶ」をねらいとした交通安全指導を行いました。

当日は、春日井市役所総務部市民安全課の職員の方から、模擬の信号機と横断歩道を使って、交通ルールや正しい横断歩道の渡り方について説明を受けました。その後、園児たちは参加された保護者の皆様と一緒に、実際に模擬の横断歩道を渡って、道路を渡る前に必ず立ち止まって、手を上げて、右見て、左見て、右見て、後ろ見て、前後左右の安全を確かめてから横断することを学びました。そして、信号機が青の場合は注意して渡る、信号が黄、赤の場合は渡らないことを教えていただきました。

園児たちは、楽しく真剣に安全な横断歩道の渡り方を学びました。



(交通安全指導の様子)

年長児 心を静めて座禅体験

稲葉保育園では、年長児12名が1月30日、地元の洞光院にて座禅体験を行いました。園児は住職の話聞いた後、足と手の組み方、目線の位置など、正しい座り方や呼吸法を学び、心の中で今日の自分を振り返り、心を静めて姿勢を正し、精神統一をして座禅に取り組みました。しばらくすると、住職は警策(きょうさく)を手に巡回し、園児は緊張した面持ちで肩に一打を受けていました。

体験後は、和太鼓を叩かせていただいたり、住職に質問をしたりと楽しい時間を過ごしました。子どもたちからは「楽しかった」「またやりたい」といった声や、保育園に帰ってからのおやつの中には「いのちをいただくんだよ、いただきます」といった声が聞かれました。

年長児もあと2ヶ月で小学生。静かな空間の中で自分の呼吸だけに集中し、保育園では味わえない貴重な体験でした。



(緊張した面持ちの園児)

